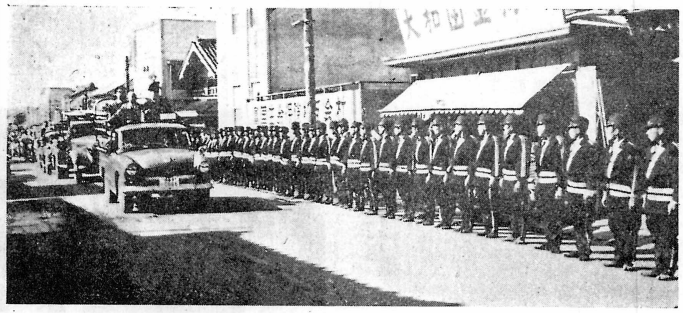
くにみ

【才73号】
昭和38年10月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 鈴木美一
印刷所 宇佐美印刷所

◎国土美化運動はまずわが町の美化より……下水にゴミを投げることはやめましょう

20年間「無火災部落など表彰
晴れ着姿で秋季点検

断じて出すまい、もやすまい……消防団
ごくろうさまです、たのみます……町民



町の消防団では去る十三日秋季点検を行ない、火災多発期に向う準備態勢を固めた。この日午前九時、統合以来十年目にしてようやく新調された揃いの制服に身を固めた四五〇名の団員が整列する目抜き通りを、消防車に乗った赤井畑町長（消防長）と大津団長が観閲、そ次に藤田小学校校庭において通常点検、規律訓練、ポンプ操法、分列行進を行ない、非常災害がおこったときに対処する人的物的態勢の完璧さが確認された。次に赤井畑町長の講評、大津団長の訓示があり、後記の功労者や優良団員に対し表彰状の伝達授与を行ない、来賓の祝辞、受賞者代表の答辞があつて閉式。尚受賞者の中に、去る三月貝田の火災のとき、不在の夫に代つて出動して活躍したという三人の若い女性の姿が見られ、並みいる人々の目を引いた。また、泉田地区は二十年間無火災の故をもつて表彰され「出して消すより出さぬがてがら」の見本を示したが、みんなの心がけようではここまで達することを身をもつて示範したものと感銘を深くした。

【写真】路上における観閲

明るい社会をつくりましょう

防犯と交通事故防止を呼びかける

国見町交通安全協会と防犯協会では桑折警察署及び町の社会福祉協議会、保護司会、婦人会、青少年問題協議会、公民館及び小中学校の協力を得て、十二日午後一時から町内抜き通りを一大パレードをした。この日、手に手にプラカードやのぼりを押立てた一行は県北中プラスバンドを先頭に藤田駅前を出発し、暴力を追放しようとか交通ルールを守って交通事故をなくそうとかを呼びかけながら藤田小学校に行つて解散した。

【写真】行進中のプラカード

千葉県下視察所感

春日佑幸

十月一、二の両日、町長、町議会と町教委の諸氏と共に、千葉県成田市豊住地区の農業構造改善事業と、終戦後海軍飛行場あとに新しく建設された工業都市茂原市の東洋高圧という肥料工場を見学した。

豊住地区では、酪農の新しい協業形態を実地に視察し、さらにそこで構造改善事業の概況もきいた。これはあくまで他山の石であつて、大いに参考にもなるがあまりに大規模な農業であつて、研究の余地も多いようであつた。

翌日は、豊富な地下資源（天然ガス）と無限の空気（空気中の窒素分など）とを利用し現代科学の粋をあつめて、わずかの人間の労働によつて一日二万袋の尿素肥料や数々の化学製品を生産している大きな工場中をバスで見てまわつた。

工場は敷地七〇町歩、一日に支払う電気料三五〇万円、それでいて従業員はわずかに七〇〇人、そのうち四〇〇人は事務関係であり、残の三〇〇人が一昼夜三交替で働いている、つまり徹底的にオートメ化されている大工場である。（所感）

視察の結果を参加全員におききする機会もなかつたから私の責任において要約するとつぎのようなことが中心になると思う。

一、今後の農業構造は改善を要することは認めるが、そのためには、当町の立地条件を真剣に検討してかからねばならないということと何をやるにも人の和が優先するということである。

一、科学技術の進歩にはどぎもをぬかれた。そして将来郷土の産業を背負つて立つ後継者にも他の職業につく人にも、もつと多く高校や大学教育をうけさせたい。

一、沿道に見える新しい小中学校や高校はほとんどみな鉄筋コンクリート三階建といつたものばかりという印象をうけた。

要するに今回の視察は、高次元の教育視察として今後の町の産業開発にも教育の面にもまことに有意義なものであつたと思う。

厚生課だより

◎高橋さんら表彰を受ける

本月五日保原小学校講堂で開かれた伊達郡未亡人連絡協議会主催の母子福祉大会で、わが国見町板橋住宅の高橋ユウさんと小坂の佐藤サクさんが表彰された。高橋さんは、夫戦死後女手一つで二人の子どもを育て、大学教育まで受けさせた更生母子世帯として又佐藤さんは国見町母子福祉会々長として永年母子の福祉増進に功績あつたことを認められたのである。

◎保育所増改築

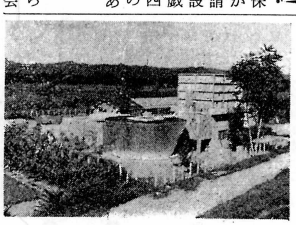
かねて保育児童の増加によつて問題になつていた藤田保育所の増改築計画も、設計ができあがり、須田製材所の請負で工事にとりかかつた。設計によれば、これまでの遊戯室を区切つて保育室とし、四〇坪の遊戯室を新築するもので十一月中旬完成の予定である。

◎敬老会開く

十月十七日午前九時半から藤田小学校講堂で町と婦人会連絡協議（催で開く。尚引続き老人クラブの総会も開かれる。

◎老人福祉
健康診査実施
時日 十月二十四、二十五、二十九日
時間 午後一時から
場所 藤田病院
該当者は次の年令の方
六十五才 七十才
七十五才 八十才
その他 診査料 不用

きれいになつた水道



赤い水、くさい水で長い間苦情のまとであつたわが町の上水道も、こんどこそすつかり除鉄設備工事が完成し、九月中旬から運転を始めている。おかげで白衣の洗たくにもりんごの着色にも異状ないとみんな大よろこびである。

風呂水があまりきれいではずかしいとか、せんたくが楽しくなつたとか、うれしい悲鳴もきかれる今日このごろである。町ではこれがため一千三百万円の巨費一戸当り約五千円の経費がかかつたことになるわけだが、個人で井戸を掘ることを考えると全く安い話である。水道係員は次のように語つている。

「長い間ご迷惑をおかけしました。ようやく除鉄浄水設備の工事が完成しましたので、こんどは皆さまに安心して使つていただけると思います。」

尚課では、町民各位がこんど完成した近代的浄水施設を視察されることを望んでいる。

【写真】完成した浄水場全景

議会だより

九月定例会

（37年度決算認定など26議案成立）

九月十六日町議会定例会が開かれ「昭和三十七年度国見町歳入歳出決算認定の件」外二十五件が審議可決された。会期三日、議案次のとおり。

記

日程第一 西大枝石田部落の電気導入工事費に対する寄付金二十三万円を採納した。

同第二 地方税の軽減と徴収制度の改善合理化のため町税条例の一部を改正した。

同第三 保険税課率の改正した。条例の一部を改正した。

同第四 教育委員・農業委員・監査委員・消防団員等の非常勤特別職の報酬増額のため条例の一部が改正された。

同第五 藤田財産区管理会委員の選挙を町長の選任とするため条例の一部が改正された。

同第六 右の委員に平館誠二・穂苅計三・斎藤太助高木幸作・斎藤長一・吉田民蔵・吉田忠吉の七氏選任に同意された。

同第七 災害復旧工事費百万円以上二件（石母田・内谷）の契約に対し承認された。

同第八 公営住宅敷地四、二一二坪を三、三三五、二七〇円で購入し、

同第九 公営住宅二十戸を建設すること。

同第十 上水道除鉄装置工事費に充てるため一千万円を借入れることが可決された。

次に国見町各種特別会計の決算が承認された。

日程第十一 都市計画土地造成事業特別会計では歳入歳出共三、六七七、三四七円で差引残金なし。

同第十二 育英事業では歳入三千四百十円差引残金四万五百九十円翌年度繰越承認。

同第十三 入山財産区では歳入三十七万五千円歳出三十一万三千四十七円差引残金六万一千九百五十三円。

同第十四 藤田財産区では歳入三十四万三千九十三円歳出十七万三千七百十一円差引残金十六万九千三百八十二円。

同第十五 国保では歳入二千四百七十三万四千七百五十八円歳出二千百七十九万七千六十一円差引残金二百九十三万七千六百九十七円。

同第十六 上水道では歳入二千五百万一千四百五十四万円歳出二千四百二十五万一千三百八十二円差引残金七十五万七十二円。

次に各種追加更正予算案が審議可決された。

日程第十九 国保特別会計で六十三万七千六百九十七円。

同第二十 上水道で百二十四万九千九百四十一円。

同第二十一 町予算で一千九百六万二千六百五十四円。

次に

日程第二十二 教育委員として武見弥八郎氏が再選された。

同第二十三 国見町議会に事務局を設置するための条例が制定され、

同第二十四 上水道職員一名増員する為職員定数条例の一部が改正された。

同第二十五 陸商会工場誘致奨励金前払についての特例条例が制定され、

同第二十六 藤田駅貨物取扱業存続方の決議をした。

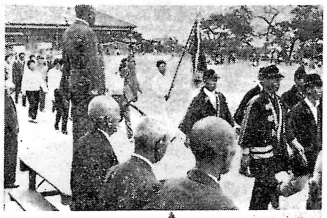
こうして三日間にわたり数々の重要議題について熱心に研究討議したわけであるが、傍聴者が一人もなかつたことは遺憾であつた。春の統一選挙直前に示した婦人層の熱がさめてしまつたとしたらちよつとさびしい気がする。議員各位は常に町民と共に進もうと努めているのだから町民も議員を先頭に押立てて町づくりにつくす気概を示してもらいたい。（鈴木）

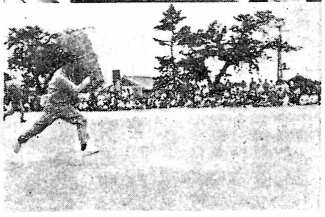
◎明るい生活はまず健康から……適当な休養を考えましょう（教養によって）

祝合併10周年

町体終る

町民期待のうちに開かれた第十回町民体育大会は絶好のスポーツびよりに恵まれて、ことしも盛会のうちに終ることができた。役員一同の献身的な活動と町民各位の変らざる協力によるものと深く感謝申上げる。記念写真二三を掲げてお礼に代えると共に、引つづき行われる十周年記念行事に対しても同様のご協力をお願いする。





もりだくさんの記念行事

ソフトボール大会……三日
式典……九日
パレード……九日
芸能祭……十日
作品展……十日
品評会……十日

わが国見町が、このおもなものを挙げると、去他町村にさきがける六日に行われた町民体育大会を皮切りに、十一月三日にはじめて新しい町づくりに発足して早くも十年になった。

は町民ソフトボール大会、九日には記念式典、十日には農産物品評会、小中学校児童生徒の作品展覧会とともに、町民による芸能文化祭が行われる。尚商工会では九日午前九時から町内にわたり、懸賞大パレードをくりひろげる。

来年三月三十一日の合併記念日を目前にひかえ、今秋は記念式典をはじめいろいろの祝賀行事を行なうことになつて、その要項が発表になつた。その要項は次の通り。

町内（大字対抗）ソフトボール大会

十周年記念行事の一つとして町民の親善融和を目標に行うものでその要領次のとおりである。大字単位の行事であるので、その地域の実体に応じ区長さん部落長さん分館長さんたちがよく協議して出場者をきめていただきたい。

要　項

一、大字毎にチームをつくる。但し藤田は四チームとする。

二、チームは大字に居住する者で次の区分によつて編成出場する。

(イ)女子　二名
(ロ)四〇才以上　一名
(ハ)三〇才以上　二名
(ニ)三十才未満　四名
監督　一名

補欠は一〇名までとする。但し(イ)は(ロ)以下の者、(ハ)は(ニ)の者の代りに出場することができる。

三、試合方法はトーナメント方式とする。

四、場所　県北中および藤田小学校グラウンド各二面づつ計四面使う。

五、期日　十一月三日午前八時開始。

六、申込　十月二十五日までメンバーを町教育委員会事務局に提出する。

七、監督会議　十月三十日午後二時より役場会議室で行ない、組合せ抽せんその他の打合せを行なう。

八、服装　スパイク及びゾウリを禁じ運動に都合よい服装のこと。

みんなで楽しく歌や踊りを…

…芸能文化祭要項…

最近ラジオやテレビの普及により、中央一流人の芸能に接する機会にめぐまれてきたが、しかし真の文化活動というものは、自分で実行してこれを楽しむところにあり、そうした活動をつづける一般大衆の中から生まれ育てられてこそほんとうの芸能文化は進んでいくものである。合併十周年記念行事の一つに芸能文化祭をとりあげたのもこうした意味からで、町民みんなが一堂に会し、自らのうたやおどりを持寄り、出し合つて一日を楽しくくらしたい。

要　項

一、日時　十一月十日（日）午前十時から午後二時まで

二、会場　藤田小学校体育館

三、種目　歌謡、舞踊、器楽演奏その他の芸能

四、参加資格　町内の各種団体グループ会員及び一般町民（但しアマチュアに限る。

五、参加者に記念品を贈る。

六、申込み　十月末日までに教育委員会事務局に申込む。

七、プログラム編成　十一月四日午後一時から役場で開く。

八、役割　実行委員会を設け公民館長を委員長に、部落長会長、PTA会長、商工会長、婦人会長、連青団長を副委員長とする。

九、広報宣伝係　次の人がこれに当り、参加者の勧誘に努める。

部落長、単位婦人会長、単位青年団長、単位農協婦人部長、婦人学級運営委員長、

懸賞　大バレードで祝意

国見町商工会

国見町商工会ではこんどの町村合併十周年記念行事に対し心からの祝意を表するため、豪華懸賞付大パレードを行なうので、バイク、オートバイ、自動車の参加を希望している。

◎時日　十一月九日
◎集合場所と時間　午前九時観月台公園
◎出発時間午前十時

◎コース
藤田―大木戸―貝田―光明寺―西大枝―川内―森江野小学校（昼食）―徳江―塚野目―役場前―国重―早田―泉田―小坂―鳥取―内谷―藤田―石母田　国見―農協前―田崎―藤田（午後三時解散）

ご協賛ありがとうございます

今回の町民体育大会にあたり、左記の各位からたくさんのご寄付をいただきました。紙上をもつて厚くお礼申上げます。（受付順）

記

プログラム　三〇〇〇枚　国見町商工会
メダル二〇ケ　読売新聞社
メダル　五ケ　河北新聞社
メダル一〇ケ　ミルキー三〇ケ　松屋菓子店
手拭　二〇本　産経新聞社
ノート二〇〇冊　郡是製絲会社
メダル　一〇ケ　鉛筆二〇本　民友新聞社
メダル　五ケ　毎日新聞社
洗面器等（聖火リレー用）　大和田金物店
（以下宝袋用）
ノート三〇冊
ボールペン三〇本　武文商店
ソーセージ三〇本　丸公市場
ミルキー三〇ケ　松屋菓子店

聖火コース国土美国民大行進に参加しよう

オリンピック東京大会はいよいよ一年後に迫り、われわれは、世紀の祭典を成功させるために、関係機関団体の総力を結集して、ひろく国民のオリンピックに対する正しい理解を深めるとともに、オリンピックの開催国の名にふさわしい国民としての生活態度や社会環境の向上につとめたい。それで特に聖火の通路にあたるわが国見町では団体及び県の関係機関の今月二十八日本県入りする「聖火コース国土美国民大行進」を歓迎送することになつたので、町民各位のご協力をお願いする。

これはあくまでも来年のオリンピック聖火リレーコースにあたる町として自主的に参加するもので、その要領は次の三点にある。

(イ)、随走隊を編成し、本隊についてパレードする。二十八日午後一時四〇分、宮城県から入つて来る本隊を迎え、これについて大体旧国道を通り桑折町境まで送る。隊は自動車とオートバイで編成し、実行委員会から委嘱された隊長が指揮する。

(ロ)、町民みんなでこの大行進を歓迎送する。

部落会、町内会、婦人会、商工会、小中学校など沿道にならび歓迎送する。小中学校のブラスバンドで応援したり、各戸に国旗を立てたり、それぞれ工夫する。

(ハ)、清掃美化運動

大行進コース全線にわたり地区住民や各種団体で、前日又は当日一斉に清掃美化を実行する。例えば、下水を上げたり、ごみ箱を掃除したり、はり紙をはがしたり、道路のデコボコをなおしたりする。

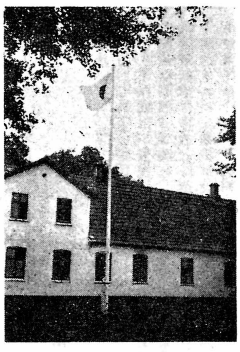
この事業をきつかけに、地区住民で清掃美化、花いつぱい運動にとりくむ組織をつくり、今後活動をつづけるようにする。

〝わが国見町を美しく〟

日の丸あげて誕生祝い

五十才のケーキにびつくり

—デンマークだより—



秋晴れの空に子どもたちが走り廻る運動会の季節となりました。ことしも豊作とか、刈り取る手も軽く仕事に精出していられる皆様のお姿を想い浮かべながらペンを走らせています。町民体育大会、秋祭り、運動会……楽しい催し物のことが次次と想い出されます。紅葉しないデンマークは近頃めつきり寒くなり、木の葉は緑のままで散つています。冬から夏へ、そして夏から冬へ変わるデンマークの気候は、ちよつと物足りなく感じます。

私たちは十月五日すべての農家実習を終り、七日から学校に入ります。十月一か月間はデンマーク語の学習、十一月から五～六か月間は農学校に入るためすべての手続きが終りました。

六か月間の農家実習をとおして知り得たデンマーク農業とその生活、日本とあまりにも相違の大きなのに驚きます。

農業それ自体はともかくとして、生活様式や農民の考え方そのものの立遅れということを痛感する今日この頃です。

しかし、私とて来年は日本に帰る、そして日本農業そのものをなんとかしなければならないと思う。しかし、具体的に何からやつてよいのか今のところ見当もつかない。トラクターも持つてない日本農業の宿命は一体どこに原因があるのか。

さて農家生活の最後になつた九月は私の誕生日の月でありました。日本では誕生祝などいつてもピンと来ませんが、キリスト教中心のこの地デンマークでは誕生日は最大の祝日の一つです。私の誕生日四日には、朝八時、ポールに高々と日章旗を掲げて祝つてくれました。お嫁さんが二メートルもある大きな日の丸を作つてくれたのです。この地に日の丸が上つたのは始めてで、子どもたちはもちろん大人たちも見に来て、誕生日おめでとうをいうし、電話で「今日は日本人の誕生日だろう。日の丸を見て知つた」と話してくれる人もあります。とにかく想像以上に国旗に対する愛着の強い国民ですから日の丸を見て喜ぶのもうなずけます。そして夜は、他の実習生二人をまじえ、近所の人達が、花や果物やいろいろの贈りものを持つてやつて来て、チョコレート、コーヒーから始まるすばらしいお祝いをしていただきました。私の名と年令を入れた五十センチもある大きなもの、やいろいろのケーキ（数えたら十二種類）は、お嫁さんとビール（若い女中）の二人がかりで一昨日からかかつて作つたものです。その後にたくさんの果物、最後にビールとデンマーク料理の代表的なオープンサンドウイッチが出て終つたのですが、祝終つてみんなが帰つたのは夜中の二時でした。まつたく夜ふかしをする国民であると共に、どんなおそくまで起きていても次の日は平常通り作業を続けるタフさに驚きます。

これもひとえに体力の違いであり、食物の違いとはいうもののあまりの違いにおどろきます。日本では平均より少し大きい位の私もこちらでは小さな日本人ということになつています。

農家実習の六か月間、無事過し、今ここに新しい生活に進むことができますことは、全く郷土の皆様のご後援のおかげと心から感謝申上げると共に、これからの学校生活もなんとかがんばりたいと念願しております。書きたいこともたくさんありますが、いつも表面的なことになつて申しわけありません。皆様のご健康をお祈りいたします。

十月一日　八島博正

表彰伝達

◎消防庁長官表彰
吉田久男、渡辺嚴也、佐藤一郎、徳江四郎、秦和夫

◎県消防協会長表彰
才五分団、斎藤清、鈴木政治

◎伊達支部長表彰
安藤良一、阿部和平治、渡辺正雄、菊地豊三、高橋貞雄、佐久間弘、宍戸勝造、松浦一雄、佐藤惣一

表彰授与

◎団長より表彰
仲野周蔵、一条直右ヱ門、横山庄市、野村茂、嘗野正、東海林幸郎、紺野善一郎、中野勝美、斎藤重美、宍戸重蔵、吉田忠一、吉田清市、村上公月、佐藤義正、佐久間政雄、太田久吉、菊地仙七、玉手忠一、板橋二男、鈴木司、佐藤政巳、星野要、後藤春夫、斎藤昭保、阿部恒夫

◎無火災二〇年につき団長表彰
一分団才一部（大字泉田）

◎一般協力者に対し
村上竹男、徳江順吉、岩城健治、谷津賀子、斎藤キヨ、村上テイ子

◎消防協力者に対し団長より感謝状贈呈
佐藤政三

お願い!!

◎部落長さん、班長さんにお願いします。この館報たいへんおくれましたので大至急配布してください。「一枚づつお取りください」式はやめてください。（係）

◎なるべく早く!!

◎ふるさとのたよりを!!
この館報「つくしみ」を、他の土地に行つておられる家族の方や友だちの方などに送つてあげてください。

◎グループのうごきを!!
各種団体やグループのうごきなどお知らせ下さい。情報交換の広場を設けたいと思います。写真を添えてくださればなお結構です。